

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。
今回の更新で8回目となりました。

■ その時あなたは？新潟県中越地震から学ぶこと

平成16年11月19日掲載

明日と言わず、地震対策は今日(京)から!

本日のテーマは「その時あなたは？新潟県中越地震から学ぶこと」



このたびの新潟県中越地震で被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。余震がおさまり、一日も早く復興されますことをお祈りいたします。

私は、地震から一週間経った10月31日から11月2日までの3日間被災地に入り、被災された方々からお話を伺ってまいりました。そこで多くの方からお聞きしたことは、「ドンと突き上げるような激しい揺れと同時に停電で真っ暗になった。地震が起きるとは思ってもみなかった。考えてもみなかった。」ということです。

新潟県では昭和39年に震度5の大きな地震が発生していますが、それ以来大きな地震の経験がなかったためか、住民の方々の防災意識は地震ではなく、水害に向けられていた部分があったようです。

山古志村や小千谷市の方々は、「私たちの地域は豪雪地帯であり、日頃から防火の意識は高い。今回の地震では『火事を出すな』、『火の始末をしろ』ということがとつに頭に浮かんだ。それで火事が少なかったのだと思う。」とおっしゃっていました。

このたびの地震は夕方5時56分に発生し、激しい揺れによりすぐに電気がストップしたため暗闇の中で初動対応しなければならなかったことから、壊れたガラス片などでケガをした方も多く見られました。また、冬を目前に寒さ対策が必要となるなど、避難所生活を送られている方々は現在も厳しい環境のもとで頑張っておられます。

宮城県沖地震の再来が指摘されているなか、被災された方々の体験や教訓に耳を傾け、「今何をしなければならないのか。また、何ができるのか。」を真剣に考える

ことが重要です。

ここに、被災された方々の声を一部ご紹介させていただきます。

小千谷市 女性 36歳 会社員 家族8名 (市体育館避難場所にて)



家中の家具という家具すべてが倒れた。当日は家族全員外に避難し、近所の人々と近くの広場にシートを張って夜を明かした。翌日家に戻り、つぶれた車庫から車を出してその中で家族8人で生活した。しかし、子供が急性胃腸炎と風邪でダウンしてしまったので、避難所の体育館に移った。家具を固定しなければと思ってはいたが、今までやっていなかった。2段式のタンスはバラバラに倒れ危ないと感じた。玄関のガラス類が割れ、靴などの履物に入り履くことができなかった。下駄箱は固定してガラス等の置物や花瓶を置かないこと、家具やケースを固定することが大事だと思った。

川口町 女性 49歳 主婦 家族8名

76歳の姑が自宅の2階で読書中に地震に遭い、冷蔵庫が動いて倒れてきて膝にあたり動けなくなった。夫が2階に上がって助け出した。姑は足が腫れて痛かったようだが我慢して過ごした。3日過ぎても足が腫れあがっており、これはただの打ち身ではないと思い、救援の医療チームに見てもらったら骨折しているとのことで、救急車で長岡の病院に入院した。3週間にかかるとのことだった。家のすべての家具が倒れたが、テレビはキャスター付だったので動いただけで倒れず、ガラスはアミ入りのものは割れずに残った。



山古志村 男性 75歳 農業 家族2名



電話で話をしている最中にドンと揺れ、電話が切れると同時に停電で真っ暗になった。「火を消せ」と言ってストーブの火を消した。女房は台所の火を消しに行き、ガラスで右足のくるぶしの上を切った。村で誰も火事を出さなかったのは、「常々火事を出さないように火には気をつけよう」という意識があったからだと思う。

長岡市中沢町 女性 66歳 主婦 家族4名

突然ドンと揺れて、逃げようと玄関先まで行ったところで転んだ。その上に主人が転びかぶさってきて、腰とお尻を床にいやというほどぶつけてしまった。夕食のカレーができたところだったが、それがすべて台所一面に飛び散った。茶碗などが落ちて割れ、足の踏み場もない状況となった。近所の方々と近くの空地にゴザを敷いて

座っていたが、消防の指示で避難所となっている中学校に避難した。次の日の朝食は、自宅に残った茶碗一杯のご飯を家族で一口ずつ分けて食べた。ほんとうに寒かったので、防寒対策がこれから必要になると思う。



川口町 男性 58歳 自営業 家族2名

まわりの植木鉢や置物などが飛び、200kgもあるローラーベッドが浮いて移動し、天地がひっくりかえるのではないかと思った。2度目の地震の揺れでは道路が動き、その上でスケートをしているような感じだった。停電で外は真っ暗であった。寒くなってきて上着をとりに入りに家の中に入ったとたん3回目の地震があり、玄関に頭をぶつけてしまった。携帯電話はつながらなかった。自宅は倒壊し、2階が1階になっていた。家は建てて50年以上経っている。

